



松江の誇る文化力

松江の誇る文化力を支える六つの柱

市民生活に根づく 茶の湯文化	古代から近代までの 豊富な文化財	小泉八雲が 五感で感じた 松江の生活文化	文化芸術活動の 拠点となる施設 ハード	市民と共に育む 文化芸術活動 ソフト	宍道湖・堀川・ 中海等の 松江的景観
松江の茶の湯文化は、不昧公によって極められ、食文化・生活文化・美術工芸など様々な文化芸術を育てるとともに、日常の市民生活として根付いた。	国宝をはじめ有形・無形の文化財が数多く存在し、神話と重層的な歴史が同時に息づいている稀有な地。	小泉八雲は、松江に残る古い景観や名所、歴史・文化やそこで暮らす松江の人々の生活文化を五感で感じ「日本の面影」として世界に紹介した。	文化芸術活動を実践し、触れ、学ぶことができる場であり文化芸術活動の拠点として必要な施設。	音楽や演劇、美術、郷土芸能、工芸など市民や創作者、各種団体などにより、培われ支えられている文化芸術活動。	松江らしい風景として多くの市民が思い起こし、数々の文人が書き残した光景は、市民の心のよりどころであり誇りとなっている。
食文化(料理・素材・茶菓子・お酒・出雲そば)、生活文化(茶道・華道・書道)、美術工芸(陶芸・漆工・木工)、建造物・建築技術(茶室・庭)等	松江城、神魂神社、菅田庵、木幡家住宅、佐太神社、美保神社、国分寺跡、楽山焼、諸手船、佐陀神能、おもつつあん、ホーランエンヤ、古墳、勾玉等	民俗文化・民俗学(怪談、加賀の潜戸)、国際発信(知られぬ日本の面影、神々の国の首都)、オープンマインド(開かれた精神、多文化共生)等	しいの実シアター、プラバホール、県民会館、歴史館、美術館、資料館、来待ストーン、かんべの里、図書館、公民館等	森の演劇祭、少年少女合唱隊、山陰フィルハーモニー、水燈路、琴行列、関乃五本松節、奉納相撲、島芝翫節、左義長等	宍道湖・中海、しじみ漁、夕陽、水郷祭、日本海、海水浴場、多古の七つ穴、漁火、薬用人参・牡丹畑、干し柿小屋、湯けむり、文人墨客が描いた情景等

例示

めざすべきまちの姿

誰もが松江の文化芸術を誇りに思い、心豊かになれるまち。

日常生活として親しむ	文化財の保存・活用	オープンマインドの尊重	文化芸術に触れる	文化芸術活動の継続	「水の都」の風景継承
幅広い分野に影響を与えている「茶の湯文化」を、あらゆる世代が様々な形式で、日常生活として親しむまち	有形・無形を問わず数多く存在する「文化財」への理解を深め、保存・管理を行うとともに、新たな活用の推進を図り、継承していくまち	自分だけの価値観で物事を解釈せず、あらゆるものを受け止め、違いを認める心「オープンマインド」により、多様な価値観を認めあうまち	文化芸術活動の拠点施設として適切に管理し、文化芸術活動の実践につなげ、あらゆる世代が文化芸術に触れ、学ぶことができるまち	市民により主体的に取り組まれている文化芸術活動を市民誰もが推進し、活動者・担い手・指導者が育成され、文化芸術活動が継続できるまち	多くの文人が「水の都」と書き記し、市民の心のよりどころで誇りとなっている風景が継承され、100年後も変わらず、安らぎを与えられるまち

柱に共通する六つの取組の視点

知る 調査及び情報提供 知る機会の充実、教育	育てる 担い手、活動者、指導者の 育成及び支援	伝える 保護や保存、継承・顕彰 情報発信	創造する 価値の創出、新たなモノ・ コトを生み出す	活用する 性質や働きが十分に発揮 できるよう、柔軟に使う	支える 自立的な文化活動支援 伝統芸能、産業の支援
------------------------------	-------------------------------	----------------------------	---------------------------------	------------------------------------	---------------------------------

文化芸術振興計画（基本方針・基本計画）